

I. 第 69 回国民体育大会（長崎県）におけるモデル的な実戦試合等の実施

国体では、正式競技、公開競技、デモンストレーションとしてのスポーツ行事（デモスポ）などを実施しており、このうち、都道府県対抗形式で行われる正式競技においては、国体という機会を活かした競技の普及・PR のため、体験教室やエキシビジョンマッチ等のイベント事業を実施している。

「国民体育大会における 2020 年オリンピック対策・実行計画」では、平成 26（2014）年に長崎県において開催した第 69 回国民体育大会を新たな女子種目の正式競技導入に向けた準備段階である“ステップ 1”と位置づけている。

そこで本年度は、以下の 6 種目について、女性アスリートによるモデル的な実戦形式での試合等をイベント事業として行った。

モデル的な実戦試合等実施概要

1. 水球

(1) 日時

平成 26 年 9 月 10 日（水） 13：00～13：30

(2) 会場

長崎市民総合プール

(3) 実施内容

女子エキシビジョンマッチ

水球では、高いレベルの試合を観客に見ていただき、女子水球に対する興味関心を高めることを目的に、国体直後に開催される第 17 回アジア競技大会（韓国／仁川）に向けた強化合宿中の水球女子日本代表ポセイドンジャパンの選手等による実戦形式での紅白試合（エキシビジョンマッチ）を実施した。

○ 出場選手：

POS	氏名	所属	主な出場大会等
GK	三浦 里佳子	日体クラブ/白鵬女子高校教員	2014 ワールドリーグ、アジア大会代表
FP	曲山 紫乃	日体クラブ/SV Bayer Uerdingen	2014 ワールドリーグ、アジア大会代表
FP	小川 沙希	日体クラブ/榊THINK フィットネス	2014 ワールドリーグ、アジア大会代表
FP	柿市 衣里奈	日体クラブ	2014 ワールドリーグ、アジア大会代表

POS	氏名	所属	主な出場大会等
FP	中田 萌	日体クラブ	2014 ワールドリーグ、アジア大会代表
FP	高橋 綾佳	日本体育大学	2014 ワールドリーグ、アジア大会代表
FP	中野 由美	藤村／東京都立桜町高校教員	2014 ワールドリーグ、アジア大会代表
FP	杉山 緑	東京女子体育大学	2014 ワールドリーグ、アジア大会代表
FP	橋口 明希	東京女子体育大学	2014 アジア大会代表
FP	固城 侑美	早稲田大学	2014 ワールドリーグ、アジア大会代表
FP	小西 晃代	早稲田大学	2014 ワールドリーグ代表
GK	梅田 優子	びわこ成蹊スポーツ大学	2014 ワールドリーグ、アジア大会代表
FP	森 翼	びわこ成蹊スポーツ大学院	2014 ワールドリーグ、アジア大会代表
FP	斎藤 有寿	早稲田大学	2012 ワールドリーグ代表
FP	志賀 美沙	藤村	2014 ワールドリーグ、アジア大会代表
FP	吉里 優香	日本体育大学	2014 日本代表候補選手、2013 日本選手権優勝
GK	青木 美友	東京女子体育大学	2013 ユニバーシアード代表
FP	舟木 爽乃	日本体育大学	2013 日本選手権出場
FP	橋本 みのり	東京女子体育大学	2013 ユニバーシアード代表
FP	田中 寧葉	早稲田大学	2013 日本選手権出場

- スタッフ： 代表監督 藤原 秀規
 水球委員 大井 恵滋、飛田 菜七子
 水球強化スタッフ 浅見 奈央

- 競技スケジュール：
 (少年男子 3・4 位決定戦終了後、女子エキシビジョンマッチの準備)
 13：00～13：05 出場選手紹介
 13：05～13：30 エキシビジョンマッチ (2Q 制の紅白試合)

《エキシビジョンマッチの様子》



水球女子日本代表は、この後出場したアジア大会で初出場ながら銀メダルを獲得した

(4) 今後の課題等

エキシビジョンマッチは、少年男子最終日の 3・4 位決定戦終了後から決勝戦の間に実施した。女子種目実施時にはバウンダリーロープを男子用 (30m) から女子用 (25m) へ転

換する作業が必要であったが、予定時間の大幅な変更も無くスムーズに運営を行うことができた。

国体への正式種目導入にあたっては、今回のイベント事業と同様に従来から実施している少年男子と同会場での開催が想定される。現在 3 日間で行っている競技日程の変更も検討しつつ、会場転換等も含めた競技運営については、更に円滑に行う必要がある。

2. ボクシング

(1) 日時

平成 26 年 10 月 16 日 (木) 14:45~16:10

(2) 会場

雲仙市吾妻体育館

(3) 実施内容

女子チャレンジマッチ

ボクシングでは、女子種目の普及と日本代表クラスの選手の認知度を高めることを目的に、現在国内最高レベルの選手が参加するチャレンジマッチとして、前年度に開催された第 12 回全日本女子ボクシング選手権大会のチャンピオンと中央競技団体選出のチャレンジャーによるスパーリング形式の実戦試合をライトフライ級・フライ級・バンタム級・フェザー級の 4 階級で実施した。

○ 出場選手：

階級	氏名	所属	主な出場大会等
ライトフライ級	和田 まどか	芦屋大学	第 12 回全日本女子ボクシング選手権大会 LF 級 優勝
ライトフライ級	佐伯 霞	大阪学芸高校	第 1 回世界ジュニア選手権大会 48kg 級 優勝
フライ級	秋山 優女	早稲田大学	第 12 回全日本女子ボクシング選手権大会 F 級 第 3 位
フライ級	飯塚 愛	884 ジム	第 12 回全日本女子ボクシング選手権大会 F 級 第 3 位
バンタム級	河野 沙捺	浜松工業高校	第 12 回全日本女子ボクシング選手権大会 B 級 優勝
バンタム級	古川 絢菜	芦屋大学	第 12 回全日本女子ボクシング選手権大会 B 級 第 3 位
フェザー級	林 美涼	平成国際大学	第 12 回全日本女子ボクシング選手権大会 Fe 級 優勝
フェザー級	黒木 佳菜	芦屋大学	第 12 回全日本女子ボクシング選手権大会 Fe 級 準優勝

○ 競技結果：

ライトフライ級	<u>和田</u>	○	—	×	<u>佐伯</u>
フライ級	<u>秋山</u>	○	—	×	<u>飯塚</u>
バンタム級	<u>河野</u>	○	—	×	<u>古川</u>
フェザー級	<u>林</u>	○	—	×	<u>黒木</u>

○ 競技スケジュール：

- 11：00～14：30 少年男子・成年男子 準決勝
(終了後、女子チャレンジマッチの準備)
14：45～14：50 開始式
15：00～15：10 模範演技 (シャドーボクシング、ミット打ち)
15：10～16：00 チャレンジマッチ
ライトフライ級
フライ級
バンタム級
フェザー級
16：00～16：10 表彰式

《チャレンジマッチの様子》



(4) 今後の課題等

チャレンジマッチは、成年男子の準決勝終了後に実施した。女子種目は男子と同会場・設備で開催できるため、競技運営上特段の問題は発生しなかった。

国体への正式種目導入にあたっては、現在の競技日程（5日間）内で女子種目が追加実施されることから、試合間の時間調整等について注意を払う必要がある。

3. レスリング ※台風の影響により中止

(1) 日時

平成26年10月13日（月）、14日（火）

(2) 会場

島原復興アリーナ

(3) 実施内容

女子エキシビジョンマッチおよびレスリング体験教室

レスリングでは、国際大会で活躍する世界トップレベルの選手によるエキシビジョンマッチとジュニア選手を対象としたレスリング体験教室を実施予定としていたが、台風の影響

響により中止となった。

○ エキシビジョンマッチ出場選手（予定）：

氏名	所属	主な出場大会等
登坂 絵莉	至学館大学	2014 年世界選手権 48kg 級 優勝
岩群 安奈	アイシン・エイ・ダブリュ	2014 年アジア選手権 48kg 級 第 3 位
土性 沙羅	至学館大学	2014 年世界選手権 69kg 級 第 2 位
渡利 璃穂	アイシン・エイ・ダブリュ	2014 年アジア選手権 63kg 級 優勝

○ レスリング体験教室講師（予定）：

吉田 沙保里

伊調 馨 他

(4) 今後の課題等

本年度はイベント事業が中止となったため、競技運営上の課題を確認することができなかった。

4. ウエイトリフティング

(1) 日時

平成 26 年 10 月 17 日（金） 13：00～14：30

(2) 会場

長崎県立諫早農業高等学校体育館

(3) 実施内容

女子中学生選手による記録会

ウエイトリフティングでは、全国女子中学生選手権大会で優勝した女子中学生選手 5 名による記録会を実施した。記録会では、2 階級で合計 7 個の中学記録が生まれ、2020 年東京オリンピックでの活躍も期待されるジュニア世代の有望選手達の活躍に会場は大いに盛り上がった。

○ 出場選手：

階級	氏名	所属	学年
44kg 級	橋本 堇	大阪府枚方市立蹉跎中学校	2
48kg 級	中里 梨花	滋賀県高島市立湖西中学校	3
53kg 級	具志堅 莉奈	沖縄県南城市立玉城中学校	3
58kg 級	小林 紗良花	石川県珠洲市立緑丘中学校	2
69kg 級	中島 一馨	石川県珠洲市立緑丘中学校	1

○ 競技結果：

階級	氏名	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト		トータル	シンクレア ポイント	順位
			1	2	3	1	2	3	S	C&J			
48Kg	橋本 堇	46.22	45	48	50	55	58	61	50	61	111	188.1948	3
	中里 梨花	47.62	48	50	53 MR	67 ×	67	71 MR	53	71	124 MR	204.692	2
53Kg	具志堅 莉奈	52.38	60	64 MR	65 MR	68	72 MR	74 ×	65	72	137 MR	208.6238	1
58Kg	小林 紗良花	56.80	52	54	56	63	66	68	56	68	124	177.2925	4
69Kg	中島 一馨	65.22	53 ×	53	56	65	68 ×	68 ×	56	65	121	157.2075	5

MR = 中学記録

シンクレアポイント = 体重を超越して、どの選手が優秀であるかを比較するのに男女別・体重（100g 単位）別で係数（シンクレア係数）を定めている。シンクレアポイントは、トータル重量×シンクレア係数で求める。

○ 競技スケジュール：

- 10：00～ 少年男子 105kg 級、+105 級
(終了後、女子中学生選手による記録会の準備)
- 11：00～12：00 検量
- 13：00～ 選手紹介
- 13：25～14：16 記録会
- 14：20～14：30 記録認定証授与

《記録会の様子》



(4) 今後の課題等

女子中学生選手による記録会は、ウエイトリフティング競技会最終日の全日程終了後に実施した。女子種目実施時にはバーを男子用から女子用に変更する必要があったが、大きな問題も無くスムーズに運営を行うことができた。

国体への正式種目導入にあたっては、男子と同会場で現在の競技日程（5日間）内での開催が想定されるため、試合間の時間調整等について注意を払う必要がある。

5. 自転車

(1) 日時

平成 26 年 10 月 15 日（水）、17 日（金）

※ 当初計画では 10 月 14 日（火）、15 日（水）、17 日（金）で実施予定であったが、台風の影響による競技日程の変更により、14 日のイベント事業は中止となった。

(2) 会場

佐世保競輪場

(3) 実施内容

女子エキシビジョンレース

自転車では、国体観戦者に自転車競技の魅力と女子種目のトップレベル選手の実力を PR することを目的に、日本競輪学校所属選手など 15 名が参加し、ケイリン、スクラッチ・レースの 2 種目（計画時はチーム・スプリント、500m タイム・トライアル、ケイリン、ポイント・レースの 4 種目）をエキシビジョンレースとして実施した。

○ 競技スケジュール・出場選手・競技結果：

10 月 15 日（水）

13：00～

ケイリン 決勝 2 組

<1 組>

氏名	所属	順位	タイム
大久保 花梨	祐誠高校	1	13"536
鈴木 奈央	星陵高校	2	
内村 風羽香	南大隅高校	3	
丸田 京	法政大学	4	
上野 みなみ	鹿屋体育大学大学院	5	
清水 知美	八戸学院大学	DNS	

<2 組>

氏名	所属	順位	タイム
塚越 さくら	鹿屋体育大学大学院	1	12"790
尾崎 睦	日本競輪学校	2	
元砂 七夕美	日本競輪学校	3	
溝口 香奈	日本競輪学校	4	
島田 優里	日本競輪学校	5	
齋藤 望	日本体育大学	DNS	

10月17日（金）

9：15～

スクラッチ・レース（6km）

氏名	所属	順位	タイム
塚越 さくら	鹿屋体育大学大学院	1	8' 10"95
上野 みなみ	鹿屋体育大学大学院	2	
鈴木 奈央	星陵高校	3	
大久保 花梨	祐誠高校	4	
内村 風羽香	南大隅高校	5	
谷 伊央里	日本体育大学	6	
中村 友香	鹿屋体育大学	7	
江藤 里佳子	鹿屋体育大学	8	
吉田 夢姫	日出暘谷・日出総合高校	9	
中井 彩子	日向高校	10	
齋藤 望	日本体育大学	DNS	

《エキシビジョンレースの様子》



(4) 今後の課題等

エキシビジョンレースは、男子の競技間（午前・午後）および競技開始前に実施した。自転車ではこれまでも競技団体独自の取組みとして、国体において女子種目の紹介等を実施しており、競技運営上特段の問題は発生しなかった。

国体への正式種目導入に向けては、女子種目は男子と同会場・設備で開催できるものの、レース数の増加が想定されることからレース間の時間調整等について注意を払う必要がある。

6. ラグビーフットボール

(1) 日時

平成26年10月20日（月） 10：42～

(2) 会場

長崎市営ラグビー・サッカー場

(3) 実施内容

女子エキシビジョンマッチ

ラグビーフットボールでは、正式競技導入後の都道府県対抗形式の準備段階として、会場である長崎県を含む九州ブロック 8 県から選抜された高校生以上の女子選手約 50 名を招集し、4 チーム（連合チーム含む）による 7 人制エキシビジョンマッチを実施した。

○ 出場チーム：

オール福岡チーム
大分・熊本選抜チーム
宮崎・鹿児島選抜チーム
長崎・佐賀・沖縄選抜チーム

○ 競技スケジュール・競技結果：

10：42～	1 回戦			
		オール福岡チーム	48 - 0	大分・熊本選抜チーム
11：00～	1 回戦			
		宮崎・鹿児島選抜チーム	14 - 21	長崎・佐賀・沖縄選抜チーム
12：30～	3 位決定戦			
		大分・熊本選抜チーム	19 - 5	宮崎・鹿児島選抜チーム
12：48～	決勝戦			
		オール福岡チーム	32 - 0	長崎・佐賀・沖縄選抜チーム

《エキシビジョンマッチの様子》



(4) 今後の課題等

エキシビジョンマッチは、同様に 7 人制として実施している成年男子の競技の間に行った。ラグビーフットボールではこれまでも競技団体独自の取組みとして、国体において女子種目の紹介等を実施しており、競技運営上特段の問題は発生しなかった。

国体への正式種目導入に向けては、女子種目は男子と同会場・設備で開催できるものの、試合数の増加が想定されることから試合間の時間調整等について注意を払う必要がある。